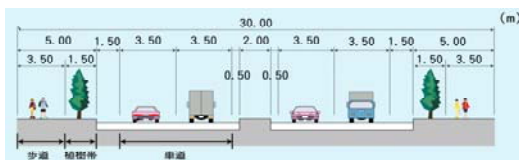


再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名 一般国道3号 <small>くまもときた</small> 熊本北バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省九州地方整備局
起終点 自：熊本県熊本市 <small>よもぎまち</small> 四方寄町 至：熊本県熊本市 <small>しんなべ</small> 新南部四丁目		延長 7.6km
事業概要 熊本市及び周辺地域の交通渋滞の緩和及び主要幹線道路としての交流・連携機能の確保を目的として計画された路線であり、一般国道57号熊本東バイパス及び熊本西環状道路と一体となって熊本環状道路を形成するものである。		
S48年度事業化	S49年度都市計画決定 (H年度変更)	S51年度用地着手
全体事業費 804億円		事業進捗率 73%
計画交通量 41,600台/日		供用済延長 4.3km
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 3.9 (残事業) 5.1	総費用 (残事業)/ (事業全体) 159/1,042億円 (事業費：144/1,002億円) (維持管理費：15/39億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 812/4,079億円 (走行時間短縮便益：655/3,679億円) (走行費用減少便益：98/287億円) (交通事故減少便益：58/112億円)
基準年 平成18年		
事業の効果等 ・広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する(熊本環状道路、地域高規格道路指定) ・三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる(植木町から熊本赤十字病院間の所要時間短縮) 他9項目該当		
関係する地方公共団体等の意見 ・熊本北バイパス建設促進期成会(会長：合志市長)の活動がなされており、近年ではH16.9月、H17.7月、H18.8月に熊本北バイパス建設促進期成会総会が開催され、早期整備要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・沿線の市町村合併(合志市)、沿線人口の高い伸び(沿線1.45倍、県平均1.08倍)、交通手段としての自動車分担率の急激な伸び(S48=35%⇒H9=60%、熊本都市圏PT調査)、沿線市町の産業活動(商・工業)が活性化		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業費ベース：73% (H17末進捗/全体事業=589億円/804億円) ・用地進捗率：82% (H17末進捗/全体事業=260億円/319億円)		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・用地買収を促進するとともに、本年度は2工区西合志高架橋下部工の完成を目指し、引き続き関係機関及び地権者等と協議を進め、未供用区間の早期供用に向け整備を推進。		
施設の構造や工法の変更等 ・1工区幅員見直し(両側歩道⇒片側歩道)や高架橋の耐候性鋼材を使用するなど、着実なコスト縮減を図るとともに、事業の時間的コストの低減に向け、計画的・重点的整備により効率性の向上を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 ・以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

【標準横断面図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。